

愛知県と稲沢市選挙管理委員会による 主権者教育(選挙出前トーク)

1月25日(木曜日)総合学習の時間に、主権者教育(選挙出前トーク)を行いました。愛知県選挙管理委員会3名、稲沢市選挙管理委員会から2名の方をお招きし、未来を担う充実した一時間を過ごしました。プログラムは二つです。

まずは、愛知県選挙管理委員会の方から、選挙の意味・仕組みについて講義を受けました。さらに若者が積極的に選挙に行くことの意味が説明されました。

次に、模擬投票に移りました。二人の模擬演説を聞き、本物の投票箱・記載台を利用して本番さながら臨場感のある投票を行いました。

最後に、投票結果の発表があり、拍手の内にあっという間に一時間がすぎました。

選挙権が引き下げられて、2年がたちます。高齢化進む中、生徒一人一人が、未来の担い手として、政治に関心を持つことは絶対に必要な事です。これから、選挙だけでなく、政治や身の回りの事について関心を深めることができる良い機会となりました。



講義 「出前トーク」



選挙公報を読む生徒



投票用紙を受け取る



最初の投票人が箱の中を確認



真剣に投票を行う



いざ開票